

# 県民歯科疾患実態調査

(平成23年10月調査)

三 重 県

平成24年3月

## 目 次

### 調査の概要

- 1 . 調査の目的
- 2 . 調査の対象
- 3 . 調査時期
- 4 . 主な調査事項
- 5 . 調査の方法

### 調査結果の概要

1. 概説
2. 被調査者数
3. 口腔内状況
  - 1 ) う蝕有病者とその処置内容
  - 2 ) 一人平均う歯数 ( DMFT )
  - 3 ) 喪失歯
  - 4 ) 20 歯以上ある者の割合
  - 5 ) 歯肉に所見のある者
  - 6 ) 歯石がある者
4. 質問票調査
  - 1 ) 現在の就学・就業状況
  - 2 ) 家族構成
  - 3 ) 主観的な健康状態
  - 4 ) 日常の健康への気遣い
  - 5 ) 8020 運動の認知
  - 6 ) 歯ブラシ以外のデンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具の使用
  - 7 ) 歯の健康づくり得点の項目別回答状況
  - 8 ) 歯の健康づくり得点の平均値
  - 9 ) 歯科医院や職場・学校等での歯科健診受診状況
  - 10 ) 酢だこやたくわんなどを噛み切ることができる
    - 1 1 ) 歯みがき剤の使用状況
    - 1 2 ) 口臭の自覚状況
    - 1 3 ) 自覚的保有歯数
    - 1 4 ) フッ化物の塗布を受けた者

### 診査基準

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、平成23年度三重の健康づくり総合推進事業の一環として、県民の歯科保健の状況を把握し、本県の健康づくり計画「ヘルシーピープルみえ・21」において生活習慣病予防のための具体的な目標値の見直しおよび健康づくり施策を展開していくための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の対象

一般県民を対象とし、平成23年4月1日現在の県内市町住民台帳より20～24歳、40～44歳、60～64歳、80～84歳より、計3,000名を無作為に抽出し調査客体とする。

### 3. 調査時期

平成23年9月にアンケート調査、同10月に調査地区の実情を考慮して、最も高い受診率をあげうる日時を選定して歯科健康診査を行う。

### 4. 主な調査事項

- (1) インプラントの有無
- (2) 顎関節の異常
- (3) 歯の状況
- (4) 補綴の状況
- (5) 歯肉の状況
- (6) 咬合の状況
- (7) 生活習慣と口腔に関する状況

### 5. 調査の方法

- (1) 三重県が、三重県歯科医師会に事業を委託して行なう。
- (2) 事務局を三重県歯科医師会に置き、口腔診査に経験の深い歯科医師および診査補助員を調査員に委嘱または任命して調査を実施する。
- (3) 本調査の具体的な実施方法については、事前に三重県健康福祉部および県歯科医師会、各地区歯科医師会、調査員等の間で、十分な打合せを行うとともに、調査地区の関係者の協力を得て本調査を円滑に実施できるように努める。
- (4) 被調査者に対しては、事前に本調査の趣旨、方法等の周知徹底を図り、調査に対する協力体制の確保に配慮する。

## 調査結果の概要

### 1. 概説

調査対象者は調査票に回答した者は男性 372 名、女性 483 名、合計 855 名であった。そのうち、口腔診査に参加した者は男性 164 名、女性 175 名、合計 339 名であった。

う蝕有病者率は 96.6% であり、処置完了者 50.6%、処置歯・未処置をもつ者 43.6%、未処置歯の者 2.4% であった。

一人平均のう歯数 (DMFT) は 20 - 24 歳では 6.4 歯、40 - 44 歳では 13.2 歯、60 - 64 歳で 16.5 歯、80 - 84 歳で 24.3 歯であった

20 歯以上ある者は 20-24 歳 100%、40-44 歳は 99.1%、60-64 歳群では 91.0%、80-84 歳では 39.5% であった。

歯肉の健康状態は、20-24 歳群で健全な歯肉の者は 28.8% であり、歯石がある者は 53.8% であった。40-44 歳群では歯石がある者は 35.0% であった。60-64 歳群では歯周ポケット 4-6mm の者が 49.0% と最も多く、80-84 歳群では歯周ポケット 4-6mm の者が 28.9%、歯周ポケット 6mm 以上の者が 15.8% であった。40-44 歳で進行した歯周病が有る者は 33.3% であった。

歯石がある者は 60 ~ 80% であった。

主観的な健康状態については半数以上の回答者が健康なほうだと思いと回答していた。

8020 運動を知っていると回答した者は男性では 24.2% から 44.3% で、女性では 26.2% から 64.3% であった。

デンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具を使用していると回答した者は、20-24 歳群では 20% 以下であったが、40-44、60-64 歳群では 25.3% から 50.7% であり、女性の 60-64 歳群で最も高かった。

歯ぐきが腫れることがある者は男女とも 40-44、60-64 歳群で高かった。歯がしみる可能性がある者は 40-44 歳群で高かった。

歯の健康づくり得点の平均値は年齢層群別で  $12.4 \pm 4.0$  (標準偏差) から  $15.3 \pm 3.7$  であった。

男女とも、20-24 歳群が歯科健診を受けていない割合が高かった。

80-84 歳群で 3 割以上の者が酢だこを噛めないと回答した。

フッ化物の配合された歯磨剤を使用していると回答した者は 23.2% から 50.0% であった。

口臭が気になると回答した者は 18.4% から 48.5% であり、男性では 40-44 歳、女性では 60-64 歳が最も高かった。

20-24、40-44 歳群では 20 本以上とした者が 7 割以上であったが、60-64 歳では約 6 割となり、80-84 歳では 2 割を切っていた。

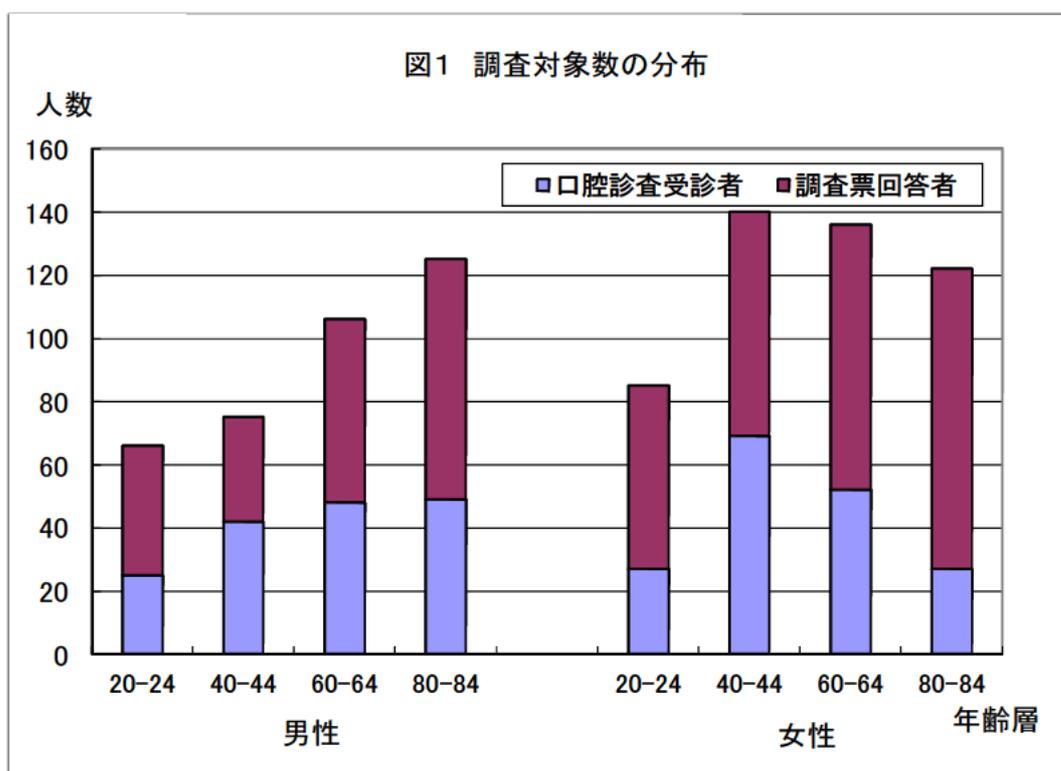
14 歳までの子どもがいると回答した 216 名のうち、子どもがフッ化物塗布を受けたことがあると回答したのは 116 名 (53.7%) であった。

## 2. 調査対象者数

20 から 24 歳、40 から 44 歳、60 から 64 歳、80 から 84 歳の 4 群に分けて調査を行った。調査票に回答した者は男性 372 名、女性 483 名、合計 855 名であった（表 1、図 1）。そのうち、口腔診査に参加した者は男性 164 名、女性 175 名、合計 339 名であった。

表 1 被調査者数

年齢層	男性		女性	
	調査票回答者	口腔診査受診者	調査票回答者	口腔診査受診者
20-24	66	25	85	27
40-44	75	42	140	69
60-64	106	48	136	52
80-84	125	49	122	27
計	372	164	483	175



### 3. 口腔内状況

#### 1) う蝕有病者率と処置状況

無歯顎者 11 名を除く 328 名のうち、う蝕有病者率は 96.6%であった。内訳は処置完了者 50.6%、処置歯・未処置をもつ者 43.6%、未処置歯の者 2.4%であった(表 2)。表 2、図 2 は年齢層別う蝕有病者率の内訳を示す。処置完了者が約 50%を占めているが、処置歯・未処置歯を併せてもつ者が 40%を超していた。

表 2 処置状況別う蝕有病者率

		う蝕のない	処置完了の者	処置歯・未処置 歯を併有する 者	未処置の者
男性	年齢層				
	20-24	4	8	11	2
	40-44	0	19	22	1
	60-64	1	21	26	0
女性	年齢層				
	20-24	3	12	11	1
	40-44	1	44	23	1
	60-64	0	30	22	0
計	n	11	166	143	8
	%	3.4	50.6	43.6	2.4

無歯顎者 11 名を除く 328 名について集計

		う蝕のない	処置完了の者	処置歯・未処置 歯を併有するも の	未処置の者
n					
男女	年齢層				
	20-24	7	20	22	3
	40-44	1	63	45	2
	60-64	1	51	48	0
	80-84	2	32	28	3

		う蝕のない	処置完了の者	処置歯・未処置 歯を併有するも の	未処置の者
%					
男女	年齢層				
	20-24	13.5	38.5	42.3	5.8
	40-44	0.9	56.8	40.5	1.8
	60-64	1.0	51.0	48.0	0.0
	80-84	3.1	49.2	43.1	4.6

2) 一人平均う歯数 (DMFT) (表3)

一人平均のう歯数 (DMFT) を年齢層別に示した (表3)。年齢が増すにしたがって増加し、20 - 24 歳では 6.4 歯、40 - 44 歳では 13.2 歯、60 - 64 歳で 16.5 歯、80 - 84 歳で 24.3 歯であった。

表3 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) 年齢層別

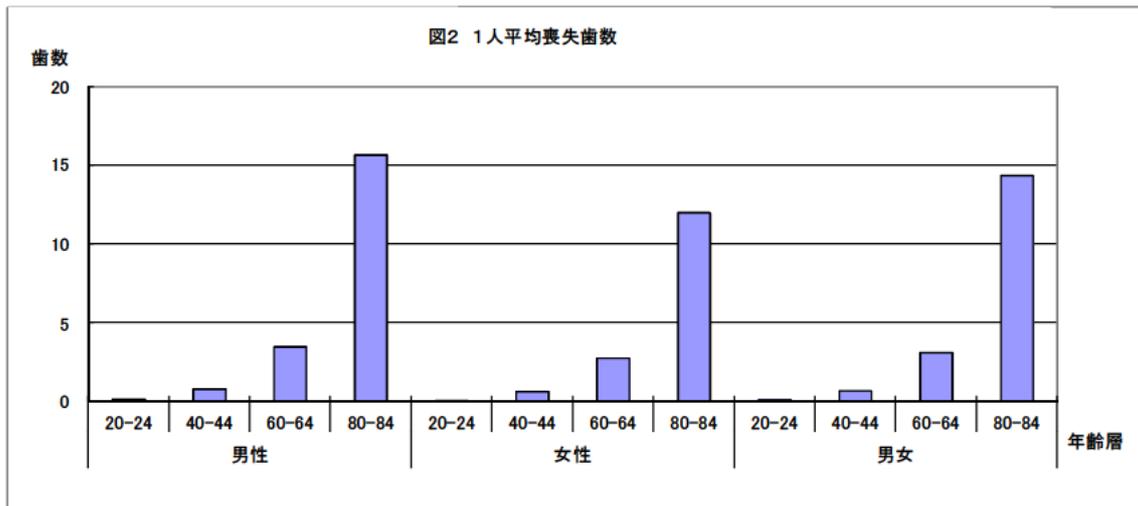
		う蝕経験 (DMFT)	未処置歯 (DT)	喪失歯 (MT)	処置歯 (FT)
男性	20-24	6.7	1.9	0.1	4.7
	40-44	12.9	1.5	0.8	10.6
	60-64	15.5	1.1	3.4	10.9
	80-84	24.5	1.9	15.6	7.0
女性	20-24	6.1	1.1	0.0	4.9
	40-44	13.3	0.7	0.6	12.0
	60-64	17.5	0.9	2.7	13.8
	80-84	23.9	0.9	12.0	11.0
男女	20-24	6.4	1.5	0.1	4.8
	40-44	13.2	1.0	0.7	11.5
	60-64	16.5	1.0	3.1	12.4
	80-84	24.3	1.5	14.3	8.4

(歯)

- 注1) D: Decayed teeth の略: 永久歯のう蝕で未処置のもの  
 2) M: Missing teeth の略: 永久歯のう蝕が原因で抜去したもの  
 3) F: Filled teeth の略: 永久歯のう蝕で処置が完了したもの  
 4) DMF 歯数: D+M+F

### 3) 喪失歯 (図 2)

一人当たり平均の喪失歯を図示した (図 2)。60-64 歳群までは低い値であったが、80-84 歳群において急激に増加していた。



#### 3-3) 喪失歯のない者の割合

喪失歯のない者の割合は 20-24 歳では 92.3%、40-44 歳では 69.4%、60-64 歳では 21.0%、80-84 歳では 3.9%であり、60-64 歳で急激に減少していた。

	年齢層	人数		%	
		喪失なし	喪失あり	喪失なし	喪失あり
男性	20-24	22	3	88.0	12.0
	40-44	24	18	57.1	42.9
	60-64	10	38	20.8	79.2
	80-84	3	46	6.1	93.9
女性	20-24	26	1	96.3	3.7
	40-44	53	16	76.8	23.2
	60-64	11	41	21.2	78.8
	80-84	0	27	0.0	100.0
男女	20-24	48	4	92.3	7.7
	40-44	77	34	69.4	30.6
	60-64	21	79	21.0	79.0
	80-84	3	73	3.9	96.1

智歯を除く

4) 20 歯以上ある者の割合 (図 3、表 4)

20 歯以上ある者は 20-24 歳、40-44 歳ではそれぞれ 100%、99.1%であったが、60-64 歳群では 91.0%であった。また 80-84 歳では 39.5%であった。

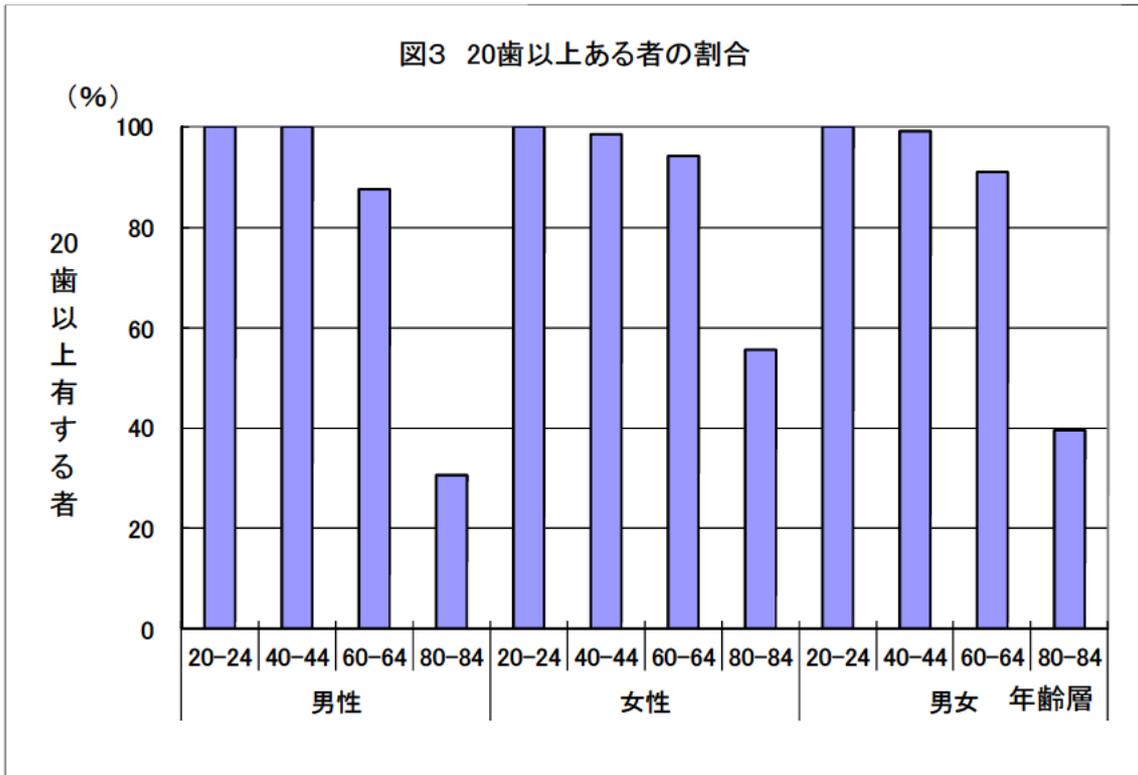


表 4 20 歯以上ある者の割合

	年齢層	20 歯以上ある者の割合 (%)
男性	20-24	100.0
	40-44	99.1
	60-64	91.0
	80-84	39.5
女性	20-24	100.0
	40-44	98.6
	60-64	94.2
	80-84	55.6
男女	20-24	100.0
	40-44	99.1
	60-64	91.0
	80-84	39.5

表 4 -2 24 歯以上ある者の割合

24 歯以上ある者は 20-24 歳では 100%、40-44 歳では 98.2%であったが、60-64 歳群では 75.0%であった。また 80-84 歳では 22.4%であった。

	年齢層	24 歯以上ある者の割合 (%)
男性	20-24	100.0
	40-44	97.6
	60-64	72.9
	80-84	20.4
女性	20-24	100.0
	40-44	98.6
	60-64	76.9
	80-84	25.9
男女	20-24	100.0
	40-44	98.2
	60-64	75.0
	80-84	22.4

### 5) 歯肉に所見のある者(図4、表5)

歯肉の健康状態を示すCPI指数の年齢別の割合は、20-24歳群で健全な歯肉の者は28.8%であり、歯石があるとする者(CPI2)が53.8%であった(図4、表5)。40-44歳群では歯石がある者(CPI2)は35.0%であった。60-64歳群では歯周ポケット4-6mm(CPI3)の者が49.0%と最も多く、80-84歳群では歯周ポケット4-6mm(CPI3)の者が28.9%、歯周ポケット6mm以上の者が15.8%であった。40-44歳で進行した歯周病(CPI3と4)が有る者は33.3%であった。

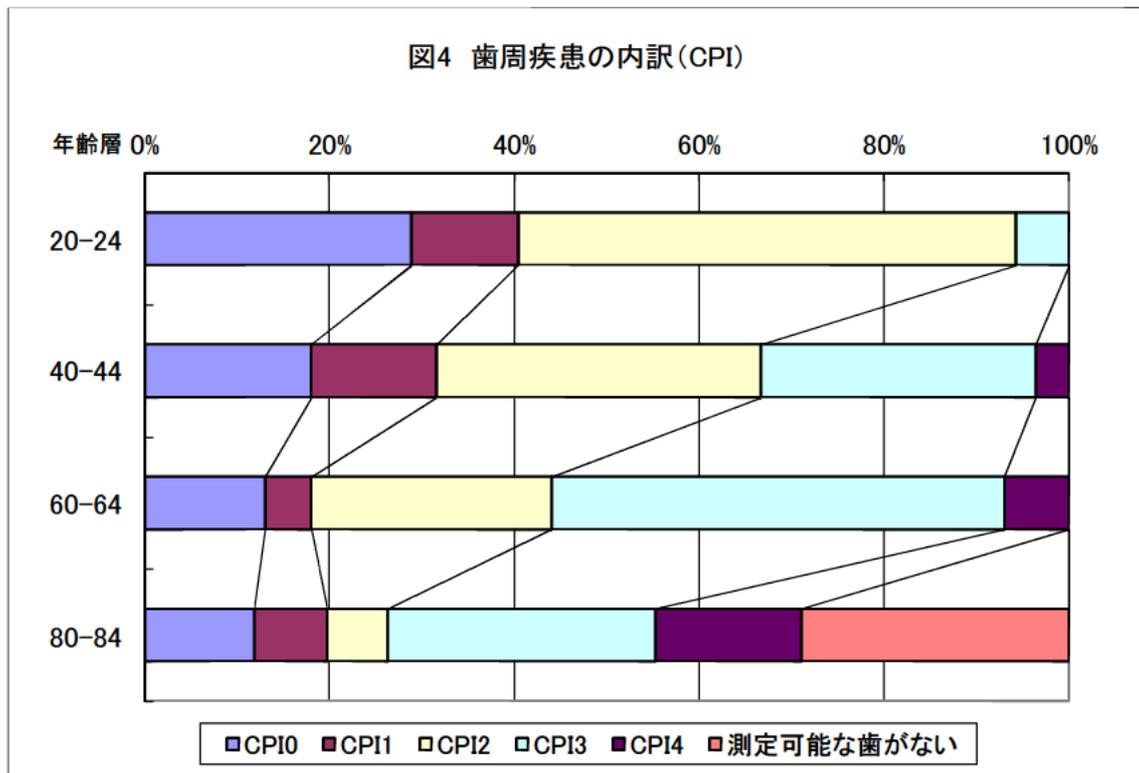


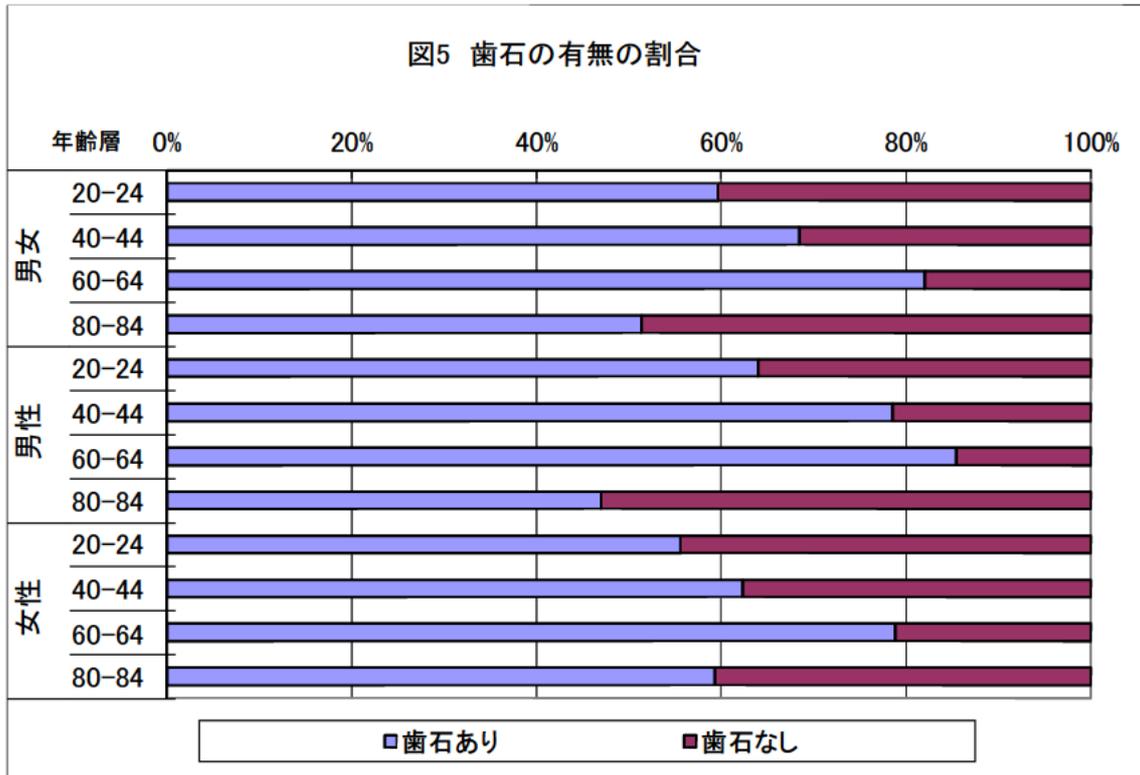
表5 CPIによる歯肉の所見

	年齢層	CPI0	CPI1	CPI2	CPI3	CPI4	測定可能な歯がない
男女	20-24	28.8	11.5	53.8	5.8	0.0	0.0
	40-44	18.0	13.5	35.1	29.7	3.6	0.0
	60-64	13.0	5.0	26.0	49.0	7.0	0.0
	80-84	11.8	7.9	6.6	28.9	15.8	28.9
男性	20-24	32.0	4.0	52.0	12.0	0.0	0.0
	40-44	14.3	7.1	31.0	42.9	4.8	0.0
	60-64	8.3	6.3	22.9	50.0	12.5	0.0
	80-84	12.2	6.1	8.2	20.4	18.4	34.7
女性	20-24	25.9	18.5	55.6	0.0	0.0	0.0
	40-44	20.3	17.4	37.7	21.7	2.9	0.0
	60-64	17.3	3.8	28.8	48.1	1.9	0.0
	80-84	11.1	11.1	3.7	44.4	11.1	18.5

(%)

6) 歯石がある者 (図5)

歯石がある者はC P Iからみると60~80%であった (図5)。



#### 4. 質問票調査

##### 1) 現在の就学・就業状況

男女とも 20-24 歳は学生が最多く、40-44 歳は男性では事務職の勤労者または専門職の勤労者が、女性では無職が最も多かった（表 6）。60-64 歳では男性では事務職の勤労者、専門職の勤労者、会社・団体の役員・経営者、無職が多く、女性では無職が多かった。80-84 歳では男女とも無職が多かった。

表 6 現在の就学・就業状況

年齢層	男性				女性			
	20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
1 農林漁業および 家族従事者	0	2	3	17	0	1	4	3
2 事務職の勤労者	7	10	12	0	16	20	3	0
3 労務・販売・保 安・サービス業の勤労 者	5	14	11	0	4	5	3	0
4 専門職の勤労者	16	17	12	1	17	18	4	0
5 管理職の勤労者	1	8	7	0	0	1	1	0
6 会社・団体の役 員・経営者	1	8	15	4	2	4	3	0
7 商業・工業・サー ビス業等個人経営者 およびその家族従事 者	2	8	6	2	1	5	9	0
8 自由業	0	1	5	5	1	0	4	1
9 パート・アルバイ ト	4	0	9	1	8	42	16	0
10 学生（浪人を含 む）	25	0	1	1	25	1	1	0
11 無職（家事に従事 する場合を含む）	3	1	20	91	7	37	82	106
12 その他	1	6	5	2	4	4	4	7
無回答	1	0	0	1	0	2	2	5
合計	66	75	106	125	85	140	136	122

## 2) 家族構成

家族構成は 20-24、40-44 歳群で 2 世代（子どもと夫婦）が最も多く、60-64、80-84 歳群の男性では夫婦のみが約半数であった（表 7）。女性は、60-64 歳群は夫婦のみの割合が高かったが、80-84 歳群では一人暮らし、または 2 世代が多かった。

表 7 家族構成

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
1 一人暮らし	n	16	6	5	10	10	5	9	36
	%	24.2	8.0	4.7	8.0	11.8	3.6	6.6	29.5
2 夫婦のみ	n	2	5	43	57	1	11	58	24
	%	3.0	6.7	40.6	45.6	1.2	7.9	42.6	19.7
3 2 世代（例：子どもと夫婦）	n	33	50	32	39	47	79	35	33
	%	50.0	66.7	30.2	31.2	55.3	56.4	25.7	27.0
4 3 世代（例：子どもと夫婦とその両親）	n	9	12	19	11	19	37	16	13
	%	13.6	16.0	17.9	8.8	22.4	26.4	11.8	10.7
5 その他	n	6	2	7	8	7	8	18	15
	%	9.1	2.7	6.6	6.4	8.2	5.7	13.2	12.3
無回答	n	0	0	0	0	1	0	0	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.8

### 3) 主観的な健康状態

主観的な健康状態については半数以上の回答者が健康なほうだと思っていると回答していた(表8)。

表8 主観的な健康状態

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
1 非常に健康	n	13	7	5	6	20	13	3	6
	%	19.7	9.3	4.7	4.8	23.5	9.3	2.2	4.9
2 健康な方だと思 う	n	41	54	87	74	60	115	105	66
	%	62.1	72.0	82.1	59.2	70.6	82.1	77.2	54.1
3 あまり健康で ない	n	10	9	11	26	4	12	23	34
	%	15.2	12.0	10.4	20.8	4.7	8.6	16.9	27.9
4 健康ではない	n	2	4	3	16	1	0	5	14
	%	3.0	5.3	2.8	12.8	1.2	0.0	3.7	11.5
無回答	n	0	1	0	3	0	0	0	2
	%	0.0	1.3	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	1.6

#### 4) 日常の健康への気遣い

日常における健康への気遣いの程度について、半数以上の回答者は気をつけている方だと思うと回答したが、あまり気をつけていない方だと思うと回答した者が20-24、40-44、60-64歳群で2割以上いた(表9)。

表9 日常の健康への気遣い

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
1 ふだんからよく気をつけている	n	7	7	6	28	4	5	9	25
	%	10.6	9.3	5.7	22.4	4.7	3.6	6.6	20.5
2 気をつけている方だと思う	n	31	37	64	75	50	97	90	71
	%	47.0	49.3	60.4	60.0	58.8	69.3	66.2	58.2
3 あまり気をつけていない方だと思う	n	18	26	26	15	28	34	28	8
	%	27.3	34.7	24.5	12.0	32.9	24.3	20.6	6.6
4 気をつけていない	n	7	2	2	1	3	2	2	6
	%	10.6	2.7	1.9	0.8	3.5	1.4	1.5	4.9
無回答	n	3	3	8	6	0	2	7	12
	%	4.5	4.0	7.5	4.8	0.0	1.4	5.1	9.8

#### 5) 8020 運動の認知

8020 運動を知っていると回答した者は男性では24.2%から44.3%であった(表10)。女性では26.2%から64.3%であった。

表10 8020 運動の認知

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	16	33	47	43	33	90	81	32
	%	24.2	44.0	44.3	34.4	38.8	64.3	59.6	26.2
いいえ	n	48	39	52	72	52	48	49	73
	%	72.7	52.0	49.1	57.6	61.2	34.3	36.0	59.8
無回答	n	2	3	7	10	0	2	6	17
	%	3.0	4.0	6.6	8.0	0.0	1.4	4.4	13.9

## 6) 歯ブラシ以外のデンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具の使用

歯ブラシ以外にデンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具を使用していると回答した者は、20-24 歳群では 20%以下であったが、40-44、60-64 歳群では 25.3%から 50.7%であり、女性の 60-64 歳群で最も高かった(表 1 1)。

表 1 1 歯ブラシ以外にデンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間清掃用具の使用

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	11	19	32	25	15	59	69	27
	%	16.7	25.3	30.2	20.0	17.6	42.1	50.7	22.1
いいえ	n	53	53	67	92	70	79	60	80
	%	80.3	70.7	63.2	73.6	82.4	56.4	44.1	65.6
無回答	n	2	3	7	8	0	2	7	15
	%	3.0	4.0	6.6	6.4	0.0	1.4	5.1	12.3

## 7) 歯の健康づくり得点の項目別回答状況

歯ぐきが腫れることがある者は男女とも 40-44、60-64 歳群で高かった。歯がしみることがある者は 40-44 歳群で高かった(表 1 2)。間食をする者は女性の 20-24 歳群で 70.6%と最も高かった。趣味がある者は若い世代で高く、いずれの世代でも半数以上であった。かかりつけの敗者がいる者は年齢が上がるにつれて増加した。歯肉からの出血がある者は男女とも 40-44 歳群で高かった。1 日 2 回以上歯磨きをする者は男性の 80-84 歳群を除き 60%以上であった。たばこを吸う者の割合は男性の方が高かったが男性の 20-24 歳代で 33.3%であった。

表 1 2 歯の健康づくり得点の項目別回答状況

		男性				女性				
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84	
問 8 歯ぐきが腫れる ことがありますか。	はい	n	17	28	44	26	25	52	49	31
		%	25.8	37.3	41.5	20.8	29.4	37.1	36.0	25.4
	いいえ	n	47	44	55	91	59	86	80	79
		%	71.2	58.7	51.9	72.8	69.4	61.4	58.8	64.8
	無回答	n	2	3	7	8	1	2	7	12
		%	3.0	4.0	6.6	6.4	1.2	1.4	5.1	9.8
問 9 歯がしみるこ とがありますか。	はい	n	24	38	46	17	35	68	53	13
		%	36.4	50.7	43.4	13.6	41.2	48.6	39.0	10.7
	いいえ	n	40	34	53	99	49	70	76	92
		%	60.6	45.3	50.0	79.2	57.6	50.0	55.9	75.4
	無回答	n	2	3	7	9	1	2	7	17
		%	3.0	4.0	6.6	7.2	1.2	1.4	5.1	13.9
問 1 0 間食をよくし ますか。	はい	n	32	32	35	43	60	91	75	41
		%	48.5	42.7	33.0	34.4	70.6	65.0	55.1	33.6
	いいえ	n	32	40	64	75	24	47	54	69
		%	48.5	53.3	60.4	60.0	28.2	33.6	39.7	56.6
	無回答	n	2	3	7	7	1	2	7	12
		%	3.0	4.0	6.6	5.6	1.2	1.4	5.1	9.8
問 1 1 趣味がありま すか。	はい	n	55	54	83	86	68	96	97	73
		%	83.3	72.0	78.3	68.8	80.0	68.6	71.3	59.8
	いいえ	n	9	18	15	32	17	42	33	36
		%	13.6	24.0	14.2	25.6	20.0	30.0	24.3	29.5
	無回答	n	2	3	8	7	0	2	6	13
		%	3.0	4.0	7.5	5.6	0.0	1.4	4.4	10.7
問 1 2 かかりつけの 歯医者さんはいます か。	はい	n	31	45	85	104	55	104	119	94
		%	47.0	60.0	80.2	83.2	64.7	74.3	87.5	77.0
	いいえ	n	33	27	14	16	30	34	11	16
		%	50.0	36.0	13.2	12.8	35.3	24.3	8.1	13.1

	無回答	n	2	3	7	5	0	2	6	12
		%	3.0	4.0	6.6	4.0	0.0	1.4	4.4	9.8
問13 歯の治療は早 めに受けるようにして いますか。	はい	n	27	31	60	83	41	85	83	83
		%	40.9	41.3	56.6	66.4	48.2	60.7	61.0	68.0
	いいえ	n	37	42	39	34	44	53	47	25
		%	56.1	56.0	36.8	27.2	51.8	37.9	34.6	20.5
	無回答	n	2	2	7	8	0	2	6	14
		%	3.0	2.7	6.6	6.4	0.0	1.4	4.4	11.5
問14 歯ぐきから血 が出ることはありません か。	はい	n	27	38	47	25	33	63	52	12
		%	40.9	50.7	44.3	20.0	38.8	45.0	38.2	9.8
	いいえ	n	39	37	54	97	51	77	81	105
		%	59.1	49.3	50.9	77.6	60.0	55.0	59.6	86.1
	無回答	n	0	0	5	3	1	0	3	5
		%	0.0	0.0	4.7	2.4	1.2	0.0	2.2	4.1
問15 1日に何回歯 みがきをしますか。	はい	n	44	53	66	57	69	129	121	82
		%	66.7	70.7	62.3	45.6	81.2	92.1	89.0	67.2
	いいえ	n	22	22	37	63	15	10	14	36
		%	33.3	29.3	34.9	50.4	17.6	7.1	10.3	29.5
	無回答	n	0	0	3	5	1	1	1	4
		%	0.0	0.0	2.8	4.0	1.2	0.7	0.7	3.3
問16 自分の歯ブラ シがありますか。	はい	n	65	75	103	117	84	140	135	116
		%	98.5	100.0	97.2	93.6	98.8	100.0	99.3	95.1
	いいえ	n	1	0	0	5	0	0	0	2
		%	1.5	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	無回答	n	0	0	3	3	1	0	1	4
		%	0.0	0.0	2.8	2.4	1.2	0.0	0.7	3.3
問17 たばこを吸い ますか。	はい	n	22	20	26	15	5	9	5	1
		%	33.3	26.7	24.5	12.0	5.9	6.4	3.7	0.8
	いいえ	n	44	55	77	107	79	131	130	117
		%	66.7	73.3	72.6	85.6	92.9	93.6	95.6	95.9
	無回答	n	0	0	3	3	1	0	1	4
		%	0.0	0.0	2.8	2.4	1.2	0.0	0.7	3.3

## 8) 歯の健康づくり得点の平均値

歯の健康づくり得点の平均値は年齢層群別で  $12.4 \pm 4.0$  (標準偏差) から  $15.3 \pm 3.7$  であった (図6、表13)。

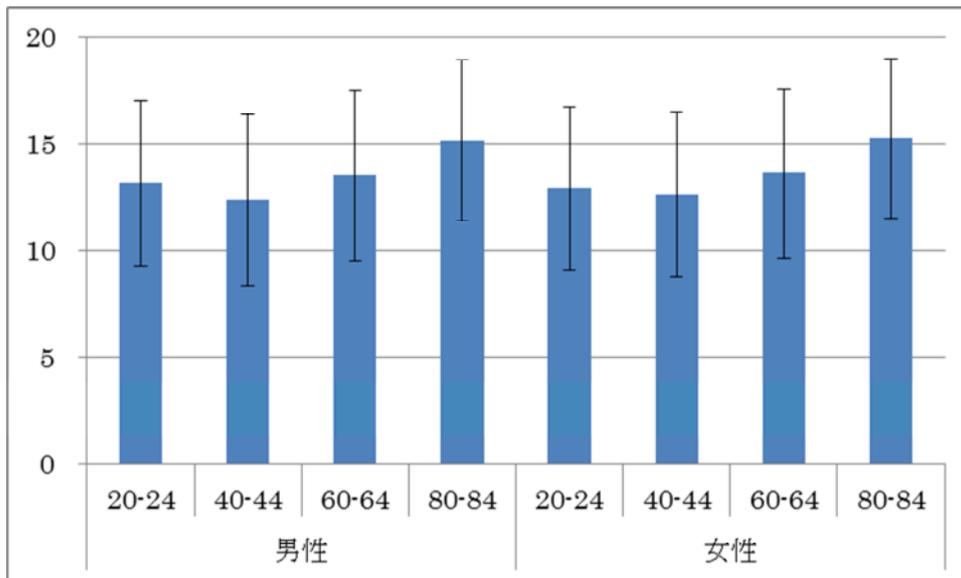


図6 歯の健康づくり得点の平均値

表13 歯の健康づくり得点の平均値

	男性				女性			
	20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
平均値	13.2	12.4	13.5	15.2	12.9	12.7	13.6	15.3
SD	3.9	4.0	4.0	3.8	3.8	3.9	3.9	3.7

## 9) 歯科医院や職場・学校等での歯科健診受診状況

男女とも、20-24 歳群が歯科健診を受けていない割合が高かった（表 1 4 ）。

表 1 4 歯科医院や職場・学校等での歯科健診受診状況

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	12	25	45	29	22	46	53	47
	%	18.2	33.3	42.5	23.2	25.9	32.9	39.0	38.5
いいえ	n	54	50	58	87	62	94	81	70
	%	81.8	66.7	54.7	69.6	72.9	67.1	59.6	57.4
無回答	n	0	0	3	9	1	0	2	5
	%	0.0	0.0	2.8	7.2	1.2	0.0	1.5	4.1

## 10) 酢だこやたくわんなどを噛み切ることができる

80-84 歳群で 3 割以上の者が噛めないと回答した（表 1 5 ）。

表 1 5 酢だこやたくわんなどを噛み切ることができる

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	65	75	92	80	82	138	123	73
	%	98.5	100.0	86.8	64.0	96.5	98.6	90.4	59.8
いいえ	n	1	0	11	42	2	1	12	46
	%	1.5	0.0	10.4	33.6	2.4	0.7	8.8	37.7
無回答	n	0	0	3	3	1	1	1	3
	%	0.0	0.0	2.8	2.4	1.2	0.7	0.7	2.5

		男女			
		20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	147	213	215	153
	%	97.4	99.1	88.8	61.9
いいえ	n	3	1	23	88
	%	2.0	0.5	9.5	35.6
無回答	n	1	1	4	6
	%	0.7	0.5	1.7	2.4

## 1 1 ) 歯みがき剤の使用状況

フッ化物の配合された歯磨剤を使用していると回答した者は 23.2% から 50.0%であった(表 1 6)。一方、何が配合されているかわからないと回答した者は 30.7%から 56.1%と多くを占めていた。

表 1 6 歯みがき剤の使用状況

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
1 フッ素入り を使っている	n	24	30	31	29	30	70	51	38
	%	36.4	40.0	29.2	23.2	35.3	50.0	37.5	31.1
2 フッ素が入 っていないもの を使っている	n	4	9	13	10	7	22	21	16
	%	6.1	12.0	12.3	8.0	8.2	15.7	15.4	13.1
3 何が配合さ れているかわか らないが使用し ている	n	37	33	57	54	45	43	58	45
	%	56.1	44.0	53.8	43.2	52.9	30.7	42.6	36.9
4 使っていな い	n	1	2	2	22	2	2	4	18
	%	1.5	2.7	1.9	17.6	2.4	1.4	2.9	14.8
無回答	n	0	1	3	9	1	3	2	5
	%	0.0	1.3	2.8	7.2	1.2	2.1	1.5	4.1

## 1 2 ) 口臭の自覚状況

口臭が気になると回答した者は 18.4%から 48.5%であり、男性では 40-44 歳、女性では 60-64 歳が最も高かった(表 1 7)。

表 1 7 口臭の自覚状況

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
気になる	n	23	36	39	23	35	65	66	25
	%	34.8	48.0	36.8	18.4	41.2	46.4	48.5	20.5
いいえ	n	43	36	64	98	49	74	69	92
	%	65.2	48.0	60.4	78.4	57.6	52.9	50.7	75.4
無回答	n	0	3	3	4	1	1	1	5
	%	0.0	4.0	2.8	3.2	1.2	0.7	0.7	4.1

		男女			
		20-24	40-44	60-64	80-84
はい	n	58	101	105	48
	%	38.4	47.0	43.4	19.4
いいえ	n	92	110	133	190
	%	60.9	51.2	55.0	76.9
無回答	n	1	4	4	9
	%	0.7	1.9	1.7	3.6

### 1 3 ) 自覚的保有歯数

20-24、40-44 歳群では 20 本以上とした者が 7 割以上であったが、60-64 歳では約 6 割となり、80-84 歳では 2 割を切っていた（表 1 8）。

表 1 8 自覚的保有歯数

		男性				女性			
		20-24	40-44	60-64	80-84	20-24	40-44	60-64	80-84
0 本	n	0	0	0	18	1	0	0	13
	%	0.0	0.0	0.0	14.4	1.2	0.0	0.0	10.7
1 ~ 9 本	n	0	0	5	33	1	0	7	36
	%	0.0	0.0	4.7	26.4	1.2	0.0	5.1	29.5
10 ~ 19 本	n	1	7	32	30	1	9	34	23
	%	1.5	9.3	30.2	24.0	1.2	6.4	25.0	18.9
20 本以上	n	51	59	60	19	69	123	83	23
	%	77.3	78.7	56.6	15.2	81.2	87.9	61.0	18.9
その他（わからない、総入れ歯）	n	12	4	7	20	13	6	9	22
	%	18.2	5.3	6.6	16.0	15.3	4.3	6.6	18.0
無回答	n	2	5	2	5	0	2	3	5
	%	3.0	6.7	1.9	4.0	0.0	1.4	2.2	4.1

### 1 4 ) フッ化物の塗布を受けた者

14 歳までの子どもがいると回答した 216 名のうち、子どもがフッ化物塗布を受けたことがあると回答したのは 116 名（53.7%）であった。

## 診査基準

本調査は、次に掲げる基準に従って診査した。

### (1) 現在歯

- ア 現在歯は、(ア)健全歯(イ)未処置歯(ウ)処置歯の3種類に分類する。現在歯とは、歯の全部または一部が口腔に現われているものをいう。
- イ 過剰歯は含めないこととし、癒合歯は1歯として取り扱い、その場合の歯種名は上位歯種名をもってこれにあてる。
- ウ 現在歯の診査は、視診を原則とするが、十分な照明が得られない等の診査環境の場合には、レジン充填等の確認等に際し、適宜CPIプローブを用いるか、歯質を痛めることが無いよう充分注意して歯科用探針を用いること。

### (ア) 健全歯

健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないもの(以下に記す未処置歯及び処置歯の項に該当しないもの)をいう。

- 咬耗、摩耗、着色、外傷、酸蝕症、発育不全、歯周炎、形態異常、エナメル質形成不全等の歯であっても、それとう蝕のないものは健全歯とする。

(注) 歯質の変化がなく、単に小窩裂溝が黒褐色に着色しているもの、平滑面で表面的に淡褐色の着色を認めるが歯質は透明で滑沢なもの、エナメル質形成不全と考えられるものなどは、すべて健全歯とする。

- 健全歯のうち、脱灰、再石灰化等に関連し白濁、白斑、着色部が認められる歯は、白濁・白斑・着色歯とする。

(注) 白濁、白斑、着色歯にはテトラサイクリン、ニコチン、金属、外来性色素等による着色等は含まないものとする。

- 健全歯を予防填塞の有無により、次のように分類する。

#### a. 健全歯 0

予防填塞(フィッシャー・シーラント)がされていない歯

#### b. 健全歯 t

予防填塞(フィッシャー・シーラント)がされている歯

(注) 予防填塞と処置歯との鑑別を行う場合、一般的に予防填塞はレジン充填に比べ

色調が異なること

填塞物の辺縁の形態が裂溝状で細く、不揃いなこと

填塞物表面の粗ざう感が少ないこと

が多いことを考慮する。

(イ) 未処置歯

- a. 軽度う蝕 ( Ci: Caries incipient )
- b. 重度う蝕 ( Ch: Caries high grade )

(注) 1. 同一歯の2か所以上にう蝕のある場合には、病状の進んでいる方をとること

2. フッ化ジアンミン銀 ( サホライド ) のみを塗付したと考えられるは未処置歯とする。

a 軽度う蝕 ( Ci )

歯冠部のう蝕については、明らかなう窩、脱灰・侵食されたエナメル質、軟化底、軟化壁が探知できる小窩裂溝、平滑面の病変をう蝕とする。また、根面部のう蝕については、病変部をCPIプローブで触診し、ソフト感あるいはざらついた感じがあればう蝕とする。

b 重度う蝕 ( Ch )

重度う蝕とは、歯髄まで病変が波及しているものまたは、それ以上に病変が進行しているものをいう。

(ウ) 処置歯

- 処置歯とは歯の一部または全部に充てん、クラウン等を施しているものをいう。
- 歯周炎の固定装置、矯正装置、矯正後の保定装置、保隙装置および骨折副木装置は含まれない。
- 治療が完了していない歯並びに処置歯でも2次う蝕または他の歯面等で未処置う蝕が認められる場合、未処置歯として取り扱う。
- 予防てん塞 ( フィッシャー・シーラント ) の施してある歯については、可能な限り問診して、う蝕のない歯に予防てん塞を施したものは健全歯 t とするが、明らかにう蝕のあった歯にてん塞したものは処置歯とする。

根面板は処置歯とする。

a. 充てん歯

セメント充てん、レジン充てん、アマルガム充てん、ポーセレンインレー、合金 ( インレー、アンレーおよび3 / 4 冠を含む ) 等により、充てんまたは一部歯冠修復しているものはこれに含める。架工義歯の支台歯であっても、一部修復しているものはこれに含める。

b. クラウン等

全部鑄造冠、陶材焼付鑄造冠、レジン前装鑄造冠、ジャケットクラウン等、歯冠のすべてを修復しているものをいい、架工義歯の支台歯であってもこれに含める。

( 2 ) 喪失歯

抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。ただし、智歯は含めない。

- ( 注 ) ・ 受診者の年齢を考慮すること。  
・ インプラントは喪失歯とする。

( 3 ) 補綴の状況

永久歯の欠損部における補綴物装着の有無を診査する。補綴物は、架工義歯、部分床義歯および全部床義歯に分類する。補綴物にクラスプ等による鉤歯がある場合は記録する。架工義歯については、支台歯を診査する。部分床義歯および全部床義歯については日常使用しているものであれば、診査時に装着していなくてもよい。また、一部破損している、あるいは欠損部の状況と一致していないものは装着していないものとする。

( 4 ) 歯肉の状況

76	1		67
76		1	67

の各歯の歯肉の状況を、WHOのC P I (Community Periodontal Index, 地域歯周疾患指数)によりC P Iプローベを用いて上顎、下顎とも頬側面(近・遠心)及び舌側面(近・遠心)の4点について以下の基準で診査し、最高コード値を記入する。ただし、同顎、同側の第1、第2大臼歯については、両歯の最高点を記入する。なお、コード3またはコード4で歯石の沈着が認められる場合は、上記の数字を で囲む。

- 0 : 歯肉に炎症の所見が認められない。
- 1 : プロービング後に出血が認められる。
- 2 : 歯石の沈着 ( 歯肉縁下 4mm までのプロービングによる検出を含む )
- 3 : ポケットの深さが 4mm 以上 6mm 未満 ( C P I プローベの黒い部分が歯肉縁にかかっている )
- 4 : ポケットの深さが 6mm 以上 ( C P I プローベの黒い部分がみえない )

- 対象中切歯の欠損により診査が不能な際は、反対側同名歯を診査する。
- プロービングは、C P I プローベ先端の球を歯の表面に沿って滑らせる程度の軽い力で操作し、遠心の接触点直下から、やさしく上下に動かしながら近心接触点直下まで移動させる。

( 5 ) 噛みあわせの状況

左右臼歯部について、必要に応じてミラー等を用いて、義歯を外した状態で、上下顎臼歯部(4番から8番)同士の接触の有無について診査を行い、一点でも接触があれば接触があるものとして判断する。

冠、架工義歯およびインプラントにおける接触は、噛みあわせによる接触があるものとする。なお、著しい歯冠の崩壊が認められる歯牙における接触については、噛みあわせによる接触がないものとして扱うものとする。また、本診査において歯牙の動揺度は考慮せず、接触の有無のみを診査する。